

一関市AIチャットボット導入業務に係るプロポーザルの補足資料

	書類名	ページ	項目	回答
1	実施要領	1	システム利用料について	システム使用料1,980千円は月額ではなく、令和5年度のシステム使用料の総額です。 令和6年度以降のシステム使用料に提案上限額はありませんが、導入後のランニングコストの妥当性についても審査基準に含まれます。
2	実施要領	6	企画提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施について	プロジェクターとスクリーンは、当市で準備いたします。 また、リモートによる参加も可能です。
3	審査基準表	1	「機能性」の着眼点の「一関市の準備した質問にAIチャットボットが適切な回答をしているか」の審査方法について	参加審査結果通知の際、一関市ホームページのURLから5ページ指定しますので、企画提案時まで指定ページから回答する環境を構築してください。
4	審査基準表	1	将来性、拡張性について	コミュニケーションツール連携、多言語対応機能、音声認識機能などを「将来性、拡張性」として審査基準としています。
5	仕様書	1	AIチャットボットの回答作成について	AIチャットボットが回答するためのFAQを作成した場合に、職員がFAQの確認作業を要するのであれば、職員の負担軽減を目的としているため、要件には合致しません。
6	仕様書	1	AIチャットボットが自動で定期的に収集(登録)するWebページについて	一関市ホームページで公開している全範囲となります。 現在、約5,000ページを公開しています。
7	仕様書	1	AIチャットボットが自動で定期的に収集(登録)する方法について	AIチャットボットが自動で定期的にデータを登録することを要件としていますが、数回のボタン押下で登録できる場合も可とします。 また、AIチャットボットで回答するために必要なデータを効率よく集約する手法は問いません。
8	仕様書	1	ISO/IEC27017、ISMSクラウドセキュリティ認証等の認証について	業務の実施体制や保守の体制にもよりますが、開発及び保守事業者がISMSクラウドセキュリティ認証等の認証がある場合、仕様を満たします。
9	仕様書	1	1分間に指定の数を超えるアクセスがあった場合に、AIチャットボットを一時停止できる仕組みについて	レスポンス速度等の品質面や費用、連携するアプリケーション等への影響を制御する機能があれば、一時停止できる仕組みは不要です。
10	仕様書	1	サーバの設置場所について	リリースまでに日本国内にサーバを構築する前提であれば、参加要件を満たします。
11	仕様書	2	AIチャットボットの公開について	一関市のホームページ上にフローティング、リンク等で誘導など、利用者のアクセスが容易であること。また、利用者の操作性についても配慮した方法としてください。
12	仕様書	2	管理者が使用するネットワークについて	インターネット回線を想定しています。ただし、LGWANへの対応を拒むものではありません。
13	仕様書	2	管理者が管理機能を利用できるIDについて	5アカウント程度を想定しています。

一関市AIチャットボット導入業務に係るプロポーザルの補足資料

	書類名	ページ	項目	回答
14	仕様書	2	回答の基となるWebページや回答の補足データとなるドキュメントについて	ドキュメントは、pdf、jpg、gif、png、txt、zip、doc、xls、ppt、rtf、xlsx、docx、pptx、csv、odt、xml、MP3等を想定しています。 一関市のホームページに掲載されているドキュメントは、AIチャットボットで定期的に自動で登録できること。更に補足データのドキュメント登録もできることを要件としています。 補足データのドキュメントは、個別に保管・管理・公開等の操作を職員が行う想定です。
15	仕様書	3	業務の一部再委託について	本契約の再委託に関する条項に基づき、再委託されるのであれば再委託は可能です。